第62回 全日本女子剣道選手権大会

とき　令和5年9月3日(日)
午前9時20分 開会／午前10時5分 試合開始

ところ　ジェイテクトアリーナ奈良

主催　公益財団法人全日本剣道連盟
主管　一般財団法人奈良県剣道連盟
後援　スポーツ庁／奈良県／奈良県教育委員会／公益財団法人奈良県スポーツ協会
橿原市／橿原神宮／毎日新聞社

https://www.kendo.or.jp

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとうとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

（竹刀の本意）

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

（礼法）

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形（かたち）の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

（生涯剣道）

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

全日本女子剣道選手権大会に下賜された皇后盃

全日本剣道連盟の永年の念願でありました、皇后盃が平成９年第３６回大会から下賜されました。

剣道への皇后盃下賜は、柔道・バレーボール・卓球・バスケットボール・なぎなた・ソフトボール・弓道に次いで第８番目となります。

なお天皇盃は既に昭和３３年から全日本剣道選手権大会に下賜されており平成９年度から剣道界は天皇盃・皇后盃の両方を下賜されるという栄誉を与えられました。

挨　　拶

公益財団法人　全日本剣道連盟
会　長　　網代　忠宏

第62回全日本女子剣道選手権大会をここジェイテクトアリーナ奈良において、全国各都道府県での予選を勝ち抜いた精鋭を迎え開催するにあたりご挨拶いたします。

本大会は、平成9年には皇后盃が下賜され、女子の剣道大会の中で最も権威ある大会であります。その歴史は、昭和37年第1回大会を大阪で開催して以来、平成7年からは名古屋市、平成17年から静岡県藤枝市、平成23年の第50回大会から兵庫県姫路市、平成28年より長野市で開催しており、60回大会より奈良県橿原市で開催させていただき、本年で最後となりました。

出場資格については、前年度優勝者及び各都道府県での予選を勝ち抜かれた女性剣士64名による、皇后盃の獲得を目指す大会となります。充実した試合が展開され、最高の力をこの場において発揮されることを期待しております。

近年、女子剣道の普及と充実は目覚しく、世界剣道選手権大会を始め、各種大会において熱戦が繰り広げられております。特に、段審査におきましては、初段取得者のうち女子剣士は約3分の1以上を占める状況にあり、六段・七段の取得者についても、年々増加傾向にあります。更には、剣道八段審査において女性の1次合格者が出ましたことは、女性剣士の皆様にとりましても、女子剣道の発展となっております。今後も「女子委員会」を中心に、より一層の女子剣道の充実と普及・発展に力を入れていく所存でおります。

女性剣士の活躍は、中学校での武道必修化や子ども達への普及振興や教育の面にも好影響を与えてくれるものと確信いたします。更には、この全日本女子剣道選手権大会の出場・活躍を夢見る少女剣士たちのよき模範となることを希望します。今後も、剣道の一層の普及発展を図るための諸施策を推進し、広く青少年の健全育成に寄与していく所存であります。

終わりに、本大会の開催にあたりご後援を頂いたスポーツ庁・奈良県・奈良県教育委員会・公益財団法人奈良県スポーツ協会・橿原市・橿原神宮・毎日新聞社、主管団体として運営にご尽力を頂いた一般財団法人奈良県剣道連盟、並びに関係各位に深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶と致します。

祝　　辞

文部科学大臣　永岡　桂子

第62回全日本女子剣道選手権大会が、本日ここに開催されますことを心からお祝い申し上げます。

剣道は、我が国の長い歴史と伝統に培われた世界に誇る武道の一つであり、日々の稽古を通して心身を鍛錬するとともに、相手の人格を尊重し、礼法を重んじる態度の育成を図るなど、豊かな人間形成に寄与するものです。

剣道が今日、国内外において子供から高齢者に至るまで、世代を超えて幅広い年齢層の人から親しまれ、広く普及・発展するなど、国際的発展を遂げておりますことは誠に喜ばしいことです。

本大会は、各都道府県より選出された代表選手が一堂に会し、剣道日本一を決める国内最高峰の大会であり、全国の女性剣士が目標とする憧れの舞台です。参加される選手の皆様が、日頃の修練の成果を存分に発揮されるとともに、全国の剣道を愛好する仲間と「交剣知愛」の輪を広げられ、本大会が心に残るすばらしい大会となることを願っております。

文部科学省としては、アスリートや子供たちの活動の機会を守り、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。引き続き、皆様からの御支援、御協力をお願いいたします。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力された公益財団法人全日本剣道連盟をはじめ、関係の皆様に対し深く敬意を表しますとともに、本大会の成功と剣道のますますの御発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

挨　　拶

一般財団法人　奈良県剣道連盟
会　長　　吉田　克法

第62回全日本女子剣道選手権大会が、国のまほろば橿原のジェイテクトアリーナ奈良で開催されるにあたり、主管させていただく奈良県剣道連盟を代表して心より歓迎申し上げます。

奈良県でのこの大会は今年で3年目を迎えました。2年前の第60回大会は奈良県開催の初年度であり、開催に向け手探りの状態で関係者の並々ならぬご協力と、全日本剣道連盟のご指導で運営することができ、また2年目の第61回大会でも無事に開催することができました。大会終了後には全日本剣道連盟をはじめとして各方面より称賛の言葉をいただき、奈良県剣道連盟会員共々安心いたした次第であります。今年の第62回大会は奈良県開催最後の大会です。奈良県剣道連盟として皆様に印象に残るような大会となるように鋭意準備してまいりました。

さて、全日本女子剣道選手権大会は1962年に第1回大会が開催され、今年で62年目となります。最近の女性剣士の活躍は目を見張るものがあり、高段者も次第に増えております。また現在の女性剣士の数は全剣道人口の4分の1以上を占めると言われており、今後もますます増加するものと思われます。今回参加された選手の皆様はこの数年コロナ感染の影響で十分な稽古ができなかった厳しい状況であったと思います。今年は、応援の観客も多数来られることが予想されます。日々の稽古の成果を十分に発揮されますことを期待いたします。

最後に大会開催にご後援、ご尽力いただきましたスポーツ庁、奈良県、奈良県教育委員会、公益財団法人奈良県スポーツ協会、橿原市、橿原神宮、毎日新聞社各位に感謝の意を表して挨拶といたします。

第62回全日本女子剣道選手権大会要項抜粋

1. 趣　　旨

女子剣道の普及振興を図るため、各都道府県剣道連盟登録会員の中から最も心技力に優れた女子選手により、皇后盃の獲得を目指し優勝を争い、広く剣道愛好者に披露すると共に剣道の真価を世に示し、一般の認識を深めようとするものである。

2. 選手権者の決定

各都道府県剣道連盟より選出された代表選手による、トーナメント方式によって選手権者を決定する。

3. 出場選手資格および人員

各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している女子。

(1)年齢は満18歳以上とし、段位の制限はしない。
（年齢計算は、令和6年4月1日を基準とし、平成18年4月1日以前に生まれた者）

(2)予選会出場は一ヶ所とする。違反した者は出場を取り消す。
予選会出場者は、令和5年4月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該都道府県剣道連盟の登録会員であること。

(3)出場選手人員は次のとおりとする。

東京 …… 4名
埼玉・千葉・愛知・大阪 …… 3名
茨城・神奈川・兵庫・福岡 …… 2名
その他の道府県 …… 1名
開催県 …… 1名
前年度優勝者 …… 1名
計　64名

4. 試合・審判および試合方法

(1)全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合･審判方法）に記載の試合方法による。

(2)竹刀の基準は、大学生・一般の長さ、重さ、太さとする。

(3)試合はトーナメント方式により、優勝、第二位、第三位（2名）を決定する。

(4)試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってからの試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り勝敗が決するまで継続する。

5. 表　　彰

(1)選手権者には、皇后盃・優勝旗・優勝杯・賞状および賞品を授与する。

(2)第二位・第三位に賞状および賞品を授与する。

(3)優秀選手には、優秀選手賞を贈る。

(4)出場選手には参加賞を贈る。

大会次第

1.	選手集合	8:30
2.	選手整列	9:15
3.	役員・審判員整列	9:20
4.	開会式	9:20～9:50
5.	※日本剣道形	9:50～10:05
6.	試合1回戦　2試合場(各16試合)	10:05～12:15
7.	試合2回戦　2試合場(各8試合)	12:15～13:20
8.	試合3回戦　2試合場(各4試合)	13:20～13:55
9.	試合4回戦　2試合場(各2試合)	13:55～14:15
10.	試合準決勝　1試合場(2試合)	14:25～14:45
11.	試合決勝　1試合場(1試合)	14:55～15:05
12.	閉会式　表彰	15:15～15:40

※印は公開演武

開会式

1.	選手整列	9:15
2.	役員・審判員整列	9:20
3.	国歌斉唱	
4.	皇后盃返還(レプリカ授与)	
5.	優勝旗・優勝杯返還	
6.	10回出場表彰	
7.	主催者挨拶	
8.	関係者紹介	
9.	試合上の注意	
10.	選手退場	9:50

閉会式

1.	役員・選手整列	15:15
2.	表彰	
3.	優秀選手発表	
4.	挨拶	
5.	退場	15:40

大　会　役　員

（順不同）

大会会長	網代忠宏				
大会副会長	真砂　威	藤原崇郎	吉田克法		
大会顧問	永岡桂子	松木　健	小野　剛	末次省三	藤井　剛
	伊藤雅俊	山下泰裕	久保田昌孝	伊藤元明	上田憲幸
	奥島快男	児嶋　克	福本修二	大嶽將文	小倉　昇
	忍足　功	梯　正治	黒郷源慈	小坂達明	島野泰山
	末平佑二	鈴木康生	中田琇士	牧瀬憲保	三宅一志
	目黒大作	宮坂昌之	宮坂信之		
大会参与	室伏広治	岸田英志	中山敦貴	武田牧雄	増田知幸
	小松　誠	安部美知雄	小笠原宏志	井上雅勝	長谷川弘一
	水田重則	白石正範	小林一隆	栗原憲一	千葉胤道
	小林英雄	渡邊宏一	荻荘　誠	南　信廣	大門　進
	片山外一	加瀬浩明	二橋高弘	堤　俊彦	中森博文
	中野正堂	伊吹文明	長榮周作	世耕弘成	神谷明文
	藤田長久	田中秀和	中西　章	岸田　芊	高木弘伸
	三原悦男	渡邊三則	藤川和秋	青柳俊彦	川上春生
	三浦　悟	尾方正照	橋口光博	俣木正喜	親川光俊
大会委員長	中谷行道				
大会副委員長	蒔田　実	香田郡秀	佐藤厚子		
大会委員	上浦かなえ	軽米満世	篠原政美	髙橋俊昭	谷　勝彦
	内藤常男	長尾　進	濱﨑　滿	櫻井美香	秋山知子
	池田公律	井島　章	太田健一郎	岡嶋　恒	小田佳子
	笠村浩二	金井優子	木下博文	久保木　優	佐伯浩美
	髙橋昭博	常田政邦	俊野徹人	成瀬朋恵	灰谷達明
	本多進一	武藤士津夫	山本洋一	横須ます子	吉岡成子
	吉田泰将	奈良　隆	安保洋子	小風　明	吉田篤生
実行委員長	松田勇人				
実行副委員長	椚原弘一	髙澤　彰	松原　徹		
実行委員	小林晋一	加古　恵	髙橋　嶺	長濱直弥	斎藤　諒
	松浦千恵				

競　技　役　員

（順不同）

総務部	伊東康裕	西田大佐		
（経理）	脇阪一人	前田由起		
（記録・速報）	山本英二	鎌塚いづみ	前木伸一	
（広報）	前田由起	中村真希		
会場総括	寺園誠	濱田英徳		
受付係	松山正義	松田美智代	村本和史	城戸内雅美
	泉井伸之			
放送係	北村照美	中井恵子	星野聡子	
第1試合場係				
主任	森本大介			
時計	米澤道誠	松田剛士	森崎太郎	
掲示	宇野惇之	北村明彦	木南晃寿	竹田光暢
記録	荻田高弘	大北晶子		
選手係	望月信宏	篠原佳代子		
第2試合場係				
主任	中井克典			
時計	乾卓也	福本篤志	垣内加奈子	
掲示	山口力也	井上忠紀	中本孝則	森洸太
記録	大東実里	杉村崇文		
選手係	池上奈美子	讃岐有華		
竹刀検査	小角康夫	福本恵和	細田至紀	山口匡知
	高田大介	梅尾厚弘		
場内掲示係	豊田晴行	松尾崇	吉村治高	池尻雄亮
速報係	兼松良彰	濱川裕子	細田桃夏	
接待係	谷貞子	玉木敦子	松澤敦子	伊夫伎千晴
救護	佐本憲宏			
警備	片岡秀晃	太西教仁	西岡健司	辰巳博之
	西中正			

審　判　員

審判長
剣道範士
松　田　勇　人

審判主任
剣道範士
清　水　新　二

審判主任
剣道範士
山　﨑　　尚

剣道教士
山　本　由　香

剣道教士
佐　藤　さとみ

剣道教士
栗　田　幸　枝

剣道教士
中　嶋　佳代子

剣道教士
谷　　ひとみ

剣道教士
久　松　博　美

剣道錬士
今　道　恵　子

剣道教士
井　上　美奈子

剣道教士
伊　東　たみ代

剣道教士
阿　部　都貴子

剣道教士
芦　田　　環

剣道教士
忠　政　美　樹

剣道教士
大　﨑　真　弥

剣道教士
平　野　悦　子

剣道教士
福　田　美佐子

剣道教士
中　島　利　恵

剣道教士
緒　方　有　希

剣道教士
新　原　のぞみ

第６２回全日本女子剣道選手権大会 審判員割当表

審　判　長　　松　田　勇　人　（奈　良）

第１試合場		第２試合場	
主　任	清　水　新　二（熊　本）	主　任	山　﨑　　尚（愛　知）
１組	①久　松　博　美（千　葉）	１組	①佐　藤　さとみ（福　島）
	②忠　政　美　樹（岡　山）		②中　島　利　恵（大　分）
	③福　田　美佐子（長　崎）		③山　本　由　香（北海道）
２組	①谷　　ひとみ（東　京）	２組	①栗　田　幸　枝（埼　玉）
	②伊　東　たみ代（奈　良）		②今　道　恵　子（愛　知）
	③阿　部　都貴子（兵　庫）		③緒　方　有　希（熊　本）
３組	①井　上　美奈子（三　重）	３組	①平　野　悦　子（徳　島）
	②中　嶋　佳代子（東　京）		②大　﨑　真　弥（高　知）
	③芦　田　　環（岡　山）		③新　原　のぞみ（鹿児島）

［備　　考］１　１回戦から４回戦までは、２試合場で実施。
準決勝戦より１試合場で実施。
２　（　　）内は、登録の都道府県剣道連盟。

女 子 剣 道 の 現 状

わが国の女子剣道の普及・発展は近年特に著しく、戦後の剣道の新しい流れとなっている。

本大会は、全日本都道府県対抗剣道優勝大会の第10回を記念し、昭和37年5月3日に5県8名の参加により、第1回大会が開催された。

昭和46年の第10回大会には参加選手37県44名と充実し、大会名を選手権大会と改め、また都道府県対抗大会と同日に行っていた本大会は、昭和62年第26回大会より独立し開催した。

また、かねてより熱望してやまなかった皇后盃が、平成9年第36回大会より優勝者に授与されることとなり、名実ともに女子選手権者の決定大会となった。

女子剣道の底辺は広くなり、幼少年から中･高･大学生･一般、さらには既婚者等と各地域･職域において盛んに行われている。

また全国規模の女子剣道大会は、本大会を皮切りに別表のとおり各関係団体の尽力により華々しく開催され、現状の隆盛を見ることが出来たことは実に喜ばしいことである。

さらに本連盟では、女子剣道の普及現状に鑑み、昭和59年にママさん剣士による第1回全国家庭婦人剣道大会を、昭和63年第1回女子剣道講習会の開催、平成10年第1回女子剣道審判講習会の開催、平成28年女子剣道指導法講習会の開催、また女性剣士による討論会の企画・実施など、女子剣道の正しい普及・振興に寄与している。

さらに平成18年度より、女子審判法研修会を女子剣道七段の中から指定して開催し、平成21年度より全国家庭婦人大会に変わり実施する全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会ならびに全日本女子剣道選手権大会の審判に起用している。

女子有段者については、別表に示すとおりであり、女性剣士最高段位の七段は令和5年3月現在877名、六段については1,583名おり、各段位とも女子剣士の修錬がうかがわれる。

令和4年度の初段合格者29,727名のうち、11,625名が女性であるという事実から、ますますわが国の女子剣道の発展が予想されよう。

全国大会における女子剣道の参加

大会名	女子の参加年度
全国中学校剣道大会	昭和54年、女子の部団体試合開催
	平成３年、女子の部個人試合開催
全国高等学校剣道大会	昭和38年、女子の部個人試合開催
	昭和44年、女子の部団体試合開催
全日本学生剣道大会	昭和42年、女子の部個人試合開催
	昭和57年、女子の部団体試合開催
全国青年剣道大会	昭和50年、女子の部団体・個人試合開催
全国スポーツ少年団剣道交流大会	昭和54年、第１回大会より女子参加
全国高等学校定時制・通信制剣道大会	昭和50年、女子の部個人試合開催
	平成９年、女子の部団体試合開催
全国教職員剣道大会	昭和56年、女子の部個人試合開催
全国家庭婦人剣道大会	昭和59年～平成20年 団体試合開催
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	平成21年、団体試合開始
国民体育大会剣道大会	平成元年、少年女子の部団体試合開催
	平成９年、成年女子の部団体試合開催
全日本実業団剣道大会	平成10年、女子の部団体試合開催
世界剣道選手権大会	平成12年、女子の部個人試合正式種目開催
	平成15年、女子の部団体試合正式種目開催

女子剣道有段者年度別登録

	七段	六段	五段	四段	三段	二段	初段
令和４年度	111	229	364	653	2,700	7,116	11,625
令和３年度	160	232	268	562	2,791	5,544	10,052
令和２年度	45	67	170	440	2,590	5,738	8,688
平成31年度(令和１年度)	66	143	281	585	2,976	7,296	10,607
平成30年度	65	169	373	753	3,246	8,000	11,759
平成29年度	78	150	333	709	3,281	8,433	12,592

第６２回　全日本女子剣

（令和５年９月３日(日)・

第１試合場

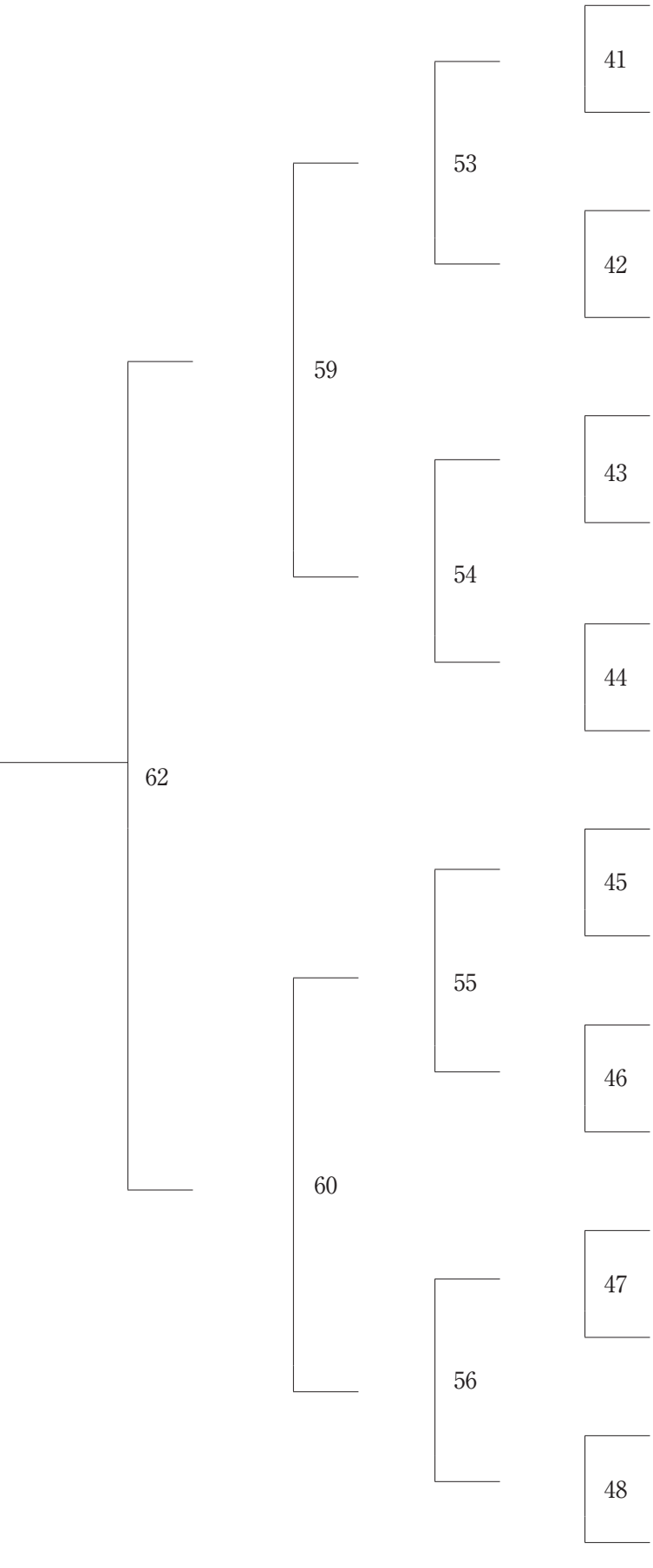
番号	段位	出場回数	県名	氏名	
1	五段	9	（福　井）	大　西　ななみ	1
2	四段	2	（兵　庫）	池　田　仁　美	
3	四段	2	（埼　玉）	宮　沢　彩　夏	2
4	四段	2	（高　知）	立　花　愛　莉	
5	錬六	12	（和歌山）	末　永　真　理	3
6	五段	3	（東　京）	表　　ちさと	
7	三段	2	（大　分）	峯　松　加　奈	4
8	四段	初	（北海道）	関　川　絢　心	
9	五段	2	（大　阪）	藤　﨑　薫　子	5
10	二段	初	（福　島）	丹　野　菜々子	
11	五段	5	（愛　知）	小　川　萌々香	6
12	二段	初	（茨　城）	村　田　結　依	
13	五段	4	（鳥　取）	初鹿野　美　幸	7
14	六段	9	（熊　本）	渡　邊　タ　イ	
15	四段	初	（千　葉）	境　　桃　花	8
16	三段	初	（長　野）	北　澤　毬　乃	
17	五段	初	（奈　良）	北　村　美　鈴	9
18	三段	初	（鹿児島）	濵　田　望　愛	
19	六段	10	（神奈川）	松　本　弥　月	10
20	三段	初	（徳　島）	河　野　菜々子	
21	四段	3	（滋　賀）	八　木　優　澄	11
22	五段	4	（東　京）	冨　永　比奈野	
23	五段	8	（宮　城）	小　松　加　奈	12
24	四段	2	（岐　阜）	阿　部　なるみ	
25	三段	初	（石　川）	横　山　　雅	13
26	三段	初	（山　形）	鈴　木　望　愛	
27	五段	7	（栃　木）	竹　中　美　帆	14
28	四段	2	（大　阪）	横　山　万　優	
29	四段	3	（愛　知）	大　嶋　友莉亜	15
30	四段	初	（埼　玉）	石　川　万　尋	
31	二段	初	（山　口）	奥　　日菜乃	16
32	四段	5	（福　岡）	村　田　桃　子	

33
34
35
36
37
38
39
40
49
50
51
52
57
58
61
63

道選手権大会　組合せ表

・ジェイテクトアリーナ奈良）

第２試合場



	氏　名	県　名	出場回数	段位	番号
17	早　川　果沙稀	（愛　知）	5	五段	33
	山　村　貴　恵	（佐　賀）	2	五段	34
18	佐　藤　悠　月	（秋　田）	初	三段	35
	笠　　日向子	（茨　城）	2	四段	36
19	近　藤　美　洸	（東　京）	9	六段	37
	岡　﨑　千　尋	（大　阪）	3	五段	38
20	佐　藤　詩　央	（富　山）	3	四段	39
	大　松　藍　里	（広　島）	初	四段	40
21	福　川　菜　月	（千　葉）	2	五段	41
	山　本　杏　里	（京　都）	2	五段	42
22	金田一　裕　美	（岩　手）	3	錬六	43
	水　川　晴　奈	（岡　山）	3	四段	44
23	松　田　美結女	（長　崎）	初	四段	45
	東　堅　嘉　怜	（和歌山）	2	三段	46
24	小　川　梨々香	（埼　玉）	6	四段	47
	岩　中　まりな	（愛　媛）	4	四段	48
25	高　橋　萌　子	（神奈川）	8	五段	49
	竹　下　思　美	（沖　縄）	初	三段	50
26	山　中　秋　乃	（新　潟）	初	四段	51
	木　村　歩由実	（兵　庫）	3	五段	52
27	妹　尾　舞　香	（福　岡）	4	四段	53
	早　川　愛　菜	（三　重）	初	四段	54
28	齋　藤　と　も	（青　森）	初	三段	55
	丸　山　里　桜	（千　葉）	初	三段	56
29	二　神　明日美	（香　川）	初	四段	57
	宮　川　麻　衣	（山　梨）	初	三段	58
30	佐　藤　みのり	（東　京）	6	五段	59
	東　畑　百　香	（奈　良）	初	四段	60
31	森　山　加　世	（島　根）	5	五段	61
	福　田　安優子	（群　馬）	3	四段	62
32	工　藤　百　映	（宮　崎）	初	四段	63
	川　合　芳　奈	（静　岡）	3	三段	64

出場選手一覧

福井県代表

① 大西（おおにし）　ななみ　（28歳）

1. 五段
2. 教員（福井県立敦賀高校）
3. 筑波大
4. 鹿児島県
5. 選手権大会9回目出場2位・3位
   全日本女子学生選手権大会優勝
   全国教職員剣道大会優勝2回
   国体優勝

兵庫県代表

② 池田（いけだ）　仁美（ひとみ）　（23歳）

1. 五段
2. 警察官（兵庫県警）
3. 園田女子大学
4. 鹿児島県
5. 選手権大会2回目出場
   全国高校大会個人3位
   全日本女子学生剣道選手権大会出場

埼玉県代表

③ 宮沢（みやざわ）　彩夏（あやか）　（27歳）

1. 四段
2. 警察官（埼玉県警）
3. 国際武道大学
4. 埼玉県
5. 選手権大会2回目出場
   女子都道府県大会出場
   国体出場
   全国警察剣道大会団体・個人出場

高知県代表

④ 立花（たちばな）　愛莉（あいり）　（21歳）

1. 四段
2. 学生（高知大学3年）
3.
4. 佐賀県
5. 選手権大会2回目出場
   全日本女子学生選手権大会出場
   女子都道府県大会出場

和歌山県代表

⑤ 末永（すえなが）　真理（まり）（旧姓山本真理子）　（35歳）

1. 錬士六段
2. 団体職員（一般社団法人 み・ゆーじ）
3. PL学園高校
4. 大阪府
5. 選手権大会12回目出場優勝３回・2位・3位4回
   世界大会団体優勝４回・個人2位
   全国警察選手権大会優勝団体優勝・2位
   個人優勝5回・2位・3位2回

東京都代表

⑥ 表（おもて）　ちさと　（28歳）

1. 五段
2. 警察官（警視庁）
3. 國學院大学
4. 兵庫県
5. 選手権大会3回目出場
   全国高校大会団体優勝

大分県代表

⑦ 峯松（みねまつ）　加奈（かな）　（21歳）

1. 三段
2. 学生（鹿屋体育大学3年）
3.
4. 大分県
5. 選手権大会２回目出場
   全日本女子学生優勝大会優勝
   全日本女子選手権大会出場
   全国高校選抜大会２位
   国体２位

北海道代表

⑧ 関川（せきかわ）　絢心（あやね）　（22歳）

1. 四段
2. 警察官（北海道警）
3. 札幌日本大学高等学校
4. 北海道
5. 選手権大会初出場
   女子都道府県大会出場
   全国警察剣道大会
   全国警察選手権大会

大阪府代表

⑨ 藤﨑（ふじさき）　薫子（かおるこ）　（26歳）

1. 五段
2. 警察官（大阪府警）
3. 明治大学
4. 熊本県
5. 選手権大会2回目出場
   女子都道府県大会出場国体2位
   全国警察剣道大会優勝

福島県代表

⑩ 丹野（たんの）　菜々子（ななこ）　（18歳）

1. 二段
2. 高校生（白河高校3年）
3.
4. 福島県
5. 選手権大会初出場
   女子都道府県大会出場
   全国高校大会団体・個人出場
   全国高校選抜大会出場

愛知県代表

⑪ 小川（おがわ）　萌々香（ももか）　（27歳）

1. 五段
2. 警察官（愛知県警）
3. 日本体育大学
4. 新潟県
5. 選手権大会5回目出場
   全日本女子学生選手権大会優勝
   全日本女子学生剣道優勝大会優勝

茨城県代表

⑫ 村田（むらた）　結依（ゆい）　（18歳）

1. 二段
2. 高校生（守谷高校3年）
3.
4. 山口県
5. 選手権大会初出場
   女子都道府県大会出場
   全国高校選抜大会団体優勝

鳥取県代表

⑬ 初鹿野（はつかの）　美幸（みゆき）　（28歳）

1. 五段
2. 刑務官（鳥取刑務所）
3. 環太平洋大学
4. 鳥取県
5. 選手権大会４回目出場
   女子都道府県大会出場
   全国矯正職員武道大会団体３位
   全国高校剣道大会出場
   全国高校選抜大会出場

熊本県代表

⑭ 渡邊（わたなべ）　タイ　（31歳）

1. 六段
2. 警察官（熊本県警）
3. 日本体育大学
4. 熊本県
5. 選手権大会9回目出場
   全日本女子剣道選手権大会3位2回
   世界剣道選手権大会団体優勝2回
   女子都道府県大会2位
   全国警察剣道選手権大会優勝

千葉県代表

⑮ 境（さかい）　桃花（ももか）　（25歳）

1. 四段
2. 警察官（千葉県警）
3. 国際武道大学
4. 熊本大学
5. 選手権大会初出場
   全国警察剣道選手権大会出場

長野県代表

⑯ 北澤（きたざわ）　毬乃（まりの）　（19歳）

1. 三段
2. 学生（筑波大学1年）
3.
4. 長野県
5. 選手権大会初出場
   全日本女子学生剣道選手権大会3位
   全国高校大会団体優勝2回
   全国高校選抜大会出場

奈良県代表

⑰ 北村（きたむら）　美鈴（みすず）　（28歳）

1. 五段
2. 教員（大和郡山市立郡山中学校）
3. 鹿屋体育大学
4. 奈良県
5. 選手権大会初出場
   全国教職員大会出場

鹿児島県代表

⑱ 濵田（はまだ）　望愛（もえ）　（21歳）

1. 三段
2. 大学生（鹿屋体育大学3年）
3.
4. 鹿児島県
5. 選手権大会初出場
   全日本学生選手権大会出場
   全国高校大会出場

神奈川県代表

⑲ 松本（まつもと）　弥月（みづき）　（31歳）

1. 六段
2. 警察官（神奈川県警）
3. 法政大学
4. 福岡県
5. 選手権大会10回目出場優勝2回
   世界剣道女子剣道選手権大会
   団体優勝3回・個人優勝2回
   全国警察選手権大会優勝

徳島県代表

⑳ 河野（かわの）　菜々子（ななこ）　（20歳）

1. 三段
2. 学生（日本体育大学2年）
3.
4. 徳島県
5. 選手権大会初出場
   全国高校選抜大会2位

滋賀県代表

㉑ 八木（やぎ）　優澄（ゆずみ）　（21歳）

1. 四段
2. 学生（国士舘大学3年）
3.
4. 滋賀県
5. 選手権大会3回目出場
   女子都道府県大会出場
   全国高校大会出場

東京都代表

㉒ 冨永（とみなが）　比奈野（ひなの）　（28歳）

1. 五段
2. 会社員
   （パナソニックEWエンジニアリング株式会社）
3. 鹿屋体育大学
4. 愛媛県
5. 選手権大会4回目出場
   世界大会団体優勝

宮城県代表

㉓ 小松（こまつ）　加奈（かな）　（25歳）

1. 五段
2. 教員（石巻市釜小学校）
3. 明治大学
4. 宮城県
5. 選手権大会8回目出場3位
   全日本女子学生剣道優勝大会優勝
   全日本女子学生剣道選手権大会優勝
   全国教職員大会３位

岐阜県代表

㉔ 阿部（あべ）　なるみ　（25歳）

1. 四段
2. 刑務官（笠松刑務所）
3. 日本体育大学
4. 岩手県
5. 選手権大会2回目出場
   女子都道府県大会出場
   国体出場
   全国矯正職員武道大会2位

石川県代表

㉕ 横山（よこやま）　雅（みやび）　（19歳）

1. 三段
2. 学生（順天堂大学1年）
3.
4. 石川県
5. 選手権大会初出場
   全国高校大会3位
   全国高校選抜大会出場

山形県代表

㉖ 鈴木（すずき）　望愛（のあ）　（19歳）

1. 三段
2. 学生（清和大学1年）
3.
4. 山形県
5. 選手権大会初出場
   全国高校総体個人団体出場
   女子都道府県大会出場

栃木県代表

㉗ 竹中（たけなか）　美帆（みほ）　（26歳）

1. 五段
2. 団体職員（栃木県スポーツ協会）
3. 筑波大学大学院
4. 鳥取県
5. 選手権大会7回目出場　3位2回
   世界選手権大会団体優勝
   国体優勝4回

大阪府代表

㉘ 横山（よこやま）　万優（まゆ）（旧姓玉置）　（26歳）

1. 四段
2. 警察官（大阪府警）
3. 近畿大学
4. 静岡県
5. 選手権大会2回目出場
   女子都道府県大会出場
   全国警察剣道大会優勝

愛知県代表

㉙ 大嶋（おおしま）　友莉亜（ゆりあ）　（22歳）

1. 四段
2. 学生（鹿屋体育大学4年）
3.
4. 愛知県
5. 選手権大会3回目出場
   全日本女子学生剣道優勝大会優勝
   全国高校大会優勝3回
   全国高校選抜大会優勝
   国体2位・3位

埼玉県代表

㉚ 石川（いしかわ）　万尋（まひろ）　（22歳）

1. 四段
2. 学生（日本体育大学4年）
3.
4. 埼玉県
5. 選手権大会初出場
   女子都道府県大会３位
   国体出場
   全日本女子学生剣道優勝大会２位

山口県代表

㉛ 奥（おく）　日菜乃（ひなの）　（19歳）

1. 二段
2. 学生（明治大学1年）
3.
4. 山口県
5. 選手権大会初出場
   全国高校大会個人優勝　団体2位
   全国高校選抜大会2位

福岡県代表

㉜ 村田（むらた）　桃子（ももこ）　（25歳）

1. 四段
2. 警察官（福岡県警）
3. 鹿屋体育大学
4. 福岡県
5. 選手権大会5回目出場3位
   全日本女子学生優勝大会優勝

愛知県代表

㉝ 早川（はやかわ）　果沙稀（みさき）（旧姓片山）　（27歳）

1. 五段
2. 警察官（愛知県警）
3. 鹿屋体育大学
4. 和歌山県
5. 選手権大会5回目出場
   全日本女子学生選手権大会出場
   全日本女子学生剣道優勝大会優勝2回、2位

佐賀県代表

㉞ 山村（やまむら）　貴恵（きえ）　（31歳）

1. 五段
2. 教員（神崎市立脊振中学校）
3. 筑波大学
4. 佐賀県
5. 選手権大会二回目出場
   女子都道府県大会出場
   国体出場
   全国教職員大会優勝

秋田県代表

㉟ 佐藤（さとう）　悠月（ゆづき）　（19歳）

1. 三段
2. 学生（山形大学1年）
3.
4. 秋田県
5. 選手権大会初出場
   全日本女子学生選手権大会出場
   全国高校大会団体個人出場
   国体2位

茨城県代表

㊱ 笠（りゅう）　日向子（ひなこ）　（21歳）

1. 四段
2. 学生（筑波大学3年）
3.
4. 福岡県
5. 選手権大会2回目出場
   女子都道府県大会3位
   全日本女子学生剣道選手権大会3位
   全国高校大会団体優勝

東京都代表

㊲ 近藤（こんどう）　美洸（みひろ）（旧姓阿部）　（30歳）

1. 六段
2. 警察官（警視庁）
3. 法政大学
4. 神奈川県
5. 選手権大会9回目出場3位
   警察大会団体優勝個人優勝

大阪府代表

㊳ 岡﨑（おかざき）　千尋（ちひろ）　（29歳）

1. 五段
2. 警察官（大阪府警）
3. 法政大学
4. 岩手県
5. 選手権大会3回目出場
   国体優勝
   全日本女子学生優勝大会3位

富山県代表

㊴ 佐藤（さとう）　詩央（しお）（旧姓川口）　（28歳）

1. 四段
2. 警察官（富山県警）
3. 愛知学院大学
4. 富山県
5. 選手権大会3回目出場
   全日本女子学生剣道優勝大会出場
   全日本女子学生剣道選手権大会出場
   女子都道府県大会出場

広島県代表

㊵ 大松（おおまつ）　藍里（あいり）　（25歳）

1. 四段
2. 警察官（広島県警）
3. 広島翔洋高校
4. 広島県
5. 選手権大会初出場
   全国警察剣道大会出場
   全国高校大会出場
   全国高校選抜大会出場

千葉県代表

㊶ 福川（ふくがわ）　菜月（なつき）　（28歳）

1. 五段
2. 警察官（千葉県警）
3. 法政大学
4. 宮崎県
5. 選手権大会2回目出場
   全日本東西対抗剣道大会出場
   全国警察剣道選手権大会出場

京都府代表

㊷ 山本（やまもと）　杏里（あんり）　（28歳）

1. 五段
2. 警察官（京都府警）
3. 鹿屋体育大学
4. 長崎県
5. 選手権大会2回目出場
   女子都道府県大会優勝
   国体3位
   全日本女子学生優勝大会2位

岩手県代表

㊸ 金田一（きんだいち）　裕美（ゆうみ）　（36歳）

1. 錬士六段
2. 教員（県立久慈東高校）
3. 東京学芸大学
4. 岩手県
5. 選手権大会3回目出場
   国体出場
   全国教職員大会出場
   全国高校選抜大会出場

岡山県代表

㊹ 水川（みずかわ）　晴奈（はるな）　（21歳）

1. 四段
2. 学生（法政大学3年）
3.
4. 岡山県
5. 選手権大会3回目出場
   女子都道府県大会優勝
   全日本女子学生選手権大会2回優勝
   全日本女子学生優勝大会2位

長崎県代表

㊺ 松田（まつだ）　美結女（みゆめ）　（23歳）

1. 四段
2. 教員（瓊浦高校）
3. 明治大学
4. 長崎県
5. 選手権大会初出場
   全国教職員剣道大会
   全日本女子学生剣道選手権大会出場

和歌山県代表

㊻ 東堅（ひがしの）　嘉怜（かれん）　（22歳）

1. 三段
2. 学生（鹿屋体育大学4年）
3.
4. 大阪府
5. 選手権大会2回目出場
   女子都道府県大会出場
   全日本女子剣道選手権大会3位
   全日本女子剣道優勝大会優勝

埼玉県代表

㊼ 小川（おがわ）　梨々香（りりか）　（24歳）

1. 四段
2. 会社員（伊田テクノス株式会社）
3. 日本体育大学
4. 新潟県
5. 選手権大会6回目出場
   女子都道府県大会優勝
   国体3位
   全日本女子学生剣道優勝大会3位
   全国教職員大会出場
   全日本実業団女子剣道大会優勝

愛媛県代表

㊽ 岩中（いわなか）　まりな　（24歳）

1. 四段
2. 会社員（三浦工業株式会社）
3. 松山大学
4. 愛媛県
5. 選手権大会四回目出場
   女子都道府県大会出場
   全国高校大会団体3位
   全日本女子学生剣道選手権大会出場
   国体優勝

神奈川県代表

㊾ 高橋（たかはし）　萌子（もえこ）　（30歳）

1. 五段
2. 警察官（神奈川県警）
3. 法政大学
4. 新潟県
5. 選手権大会8回目出場優勝2回
   世界剣道女子剣道選手権大会
   団体・優勝3回
   全国警察選手権大会優勝

沖縄県代表

㊿ 竹下（たけした）　思美（ことみ）　（21歳）

1. 三段
2. 学生（中京大学3年）
3.
4. 沖縄県
5. 選手権大会初出場
   全国高校大会出場
   全日本女子学生優勝大会出場
   全日本女子学生選手権大会出場
   都道府県対抗女子優勝大会出場

新潟県代表

⑤1 山中（やまなか） 秋乃（あきの） （25歳）

1. 四段
2. 警察官（新潟県警）
3. 東洋大学
4. 新潟県
5. 選手権大会初出場
   女子都道府県大会出場
   全国警察剣道大会団体・個人出場

兵庫県代表

⑤2 木村（きむら） 歩由実（あゆみ） （31歳）

1. 五段
2. 警察官（兵庫県警）
3. 大阪体育大学
4. 高知県
5. 選手権大会3回目出場
   全日本女子学生剣道優勝大会3位
   女子都道府県大会出場
   警察大会出場

福岡県代表

⑤3 妹尾（せのお） 舞香（まいか） （23歳）

1. 四段
2. 警察官（福岡県警）
3. 鹿屋体育大学
4. 福岡県
5. 選手権大会４回目出場優勝・２位
   世界大会個人３位
   全日本女子学生優勝大会優勝
   全国高校大会団体・個人優勝

三重県代表

⑤4 早川（はやかわ） 愛菜（あいな） （22歳）

1. 四段
2. 学生（大阪体育大学4年）
3.
4. 三重県
5. 選手権大会初出場
   全日本女子剣道優勝大会出場
   全国高校大会団体・個人出場

青森県代表

⑤5 齋藤（さいとう） とも （21歳）

1. 三段
2. 学生（筑波大学3年）
3.
4. 山形県
5. 選手権大会初出場
   女子都道府県大会出場
   国体出場
   全日本女子学生剣道選手権大会出場
   全国高校大会団体2位　個人3位
   全国高校選抜大会団体優勝

千葉県代表

⑤6 丸山（まるやま） 里桜（りお） （22歳）

1. 三段
2. 学生（順天堂大学4年）
3.
4. 東京都
5. 選手権大会初出場
   全日本女子学生優勝大会出場
   全国高校大会2位
   全国高校選抜大会出場

香川県代表

⑤7 二神（ふたがみ） 明日美（あすみ） （24歳）

1. 四段
2. 会社員（西日本電信電話株式会社）
3. 早稲田大学
4. 愛媛県
5. 選手権大会初出場
   国体優勝・2位
   全日本女子学生優勝大会出場

山梨県代表

⑤8 宮川（みやがわ） 麻衣（まい） （19歳）

1. 三段
2. 学生（中央大学1年）
3.
4. 山梨県
5. 選手権大会初出場
   女子都道府県大会出場
   全国高校大会団体・個人出場
   全国高校選抜大会出場

東京都代表

⑤9 佐藤（さとう） みのり （26歳）

1. 五段
2. 警察官（警視庁）
3. 法政大学
4. 福島県
5. 選手権大会6回目出場2位
   警察大会団体3位個人3位

奈良県代表

⑥0 東畑（とうはた） 百香（ももか） （25歳）

1. 四段
2. 警察官（奈良県警）
3. 天理大学
4. 奈良県
5. 選手権大会初出場
   全日本女子学生優勝大会出場
   全国警察剣道選手権大会出場

島根県代表

⑥1 森山（もりやま） 加世（かよ） （31歳）

1. 五段
2. 教員（県立松江養護学校）
3. 日本体育大学
4. 島根県
5. 選手権大会5回目出場
   女子都道府県大会出場
   全国警察剣道選手権大会3位

群馬県代表

⑥2 福田（ふくだ） 安優子（あゆこ） （25歳）

1. 四段
2. 会社員（株式会社ドコモCS）
3. 明治大学
4. 北海道
5. 選手権大会3回目出場
   女子都道府県大会3位
   全日本女子学生優勝大会2位

宮崎県代表

⑥3 工藤（くどう） 百映（もえ） （24歳）

1. 四段
2. 警察官（宮崎県警）
3. 日本体育大学
4. 宮崎県
5. 選手権大会初出場
   全日本女子学生優勝大会3位

静岡県代表

⑥4 川合（かわい） 芳奈（かんな） （21歳）

1. 三段
2. 学生（筑波大学3年）
3.
4. 静岡県
5. 選手権大会3回目出場3位
   全日本女子学生剣道選手権大会優勝
   全国高校大会個人2位

出場選手内訳

1.職業別員数			警察官	25名
			学生	21名
			教職員	7名
			会社員	5名
			団体職員	2名
			刑務官	2名
			高校生	2名
2.平均年齢				24.7歳
			最年長	36歳
			最年少	18歳
3.出場回数別員数	12回	1名	5回	4名
	10回	1名	4回	4名
	9回	3名	3回	10名
	8回	2名	2回	12名
	7回	1名	初回	24名
	6回	2名		
4.段位別員数			六段	5名
			五段	18名
			四段	24名
			三段	14名
			二段	3名

全日本女子剣道選手権大会入賞者一覧

第1回大会（昭和37年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・　柳沼節子（東京、五段、24）
第２位・　中村圭江（東京、三段、19）
第３位・　越田浩子（静岡、四段、21）
第３位・　川口一江（愛知、三段、27）

第2回大会（昭和38年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・　柳沼節子（東京、五段、25）
第２位・　越田浩子（静岡、四段、22）
第３位・　中村圭江（東京、三段、20）
第３位・　高野洋子（神奈川、二段、20）

第3回大会（昭和39年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・松尾和恵（広島、二段、17）
第２位・井上千代子（北海道、四段、38）
第３位・越田浩子（静岡、五段、23）
第３位・永吉ミヨコ（奈良、初段、17）

第4回大会（昭和40年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・松尾和恵（東京、三段、18）
第２位・田渕和江（岡山、二段、18）
第３位・佐藤征代（兵庫、二段、25）
第３位・井上千代子（北海道、五段、39）

第5回大会（昭和41年5月3日、神戸市中央体育館）
優　勝・田渕和江（岡山、二段、19）
第２位・船越弘美（大分、三段、24）
第３位・高野文江（神奈川、二段、17）
第３位・松尾和恵（東京、三段、19）

第6回大会（昭和42年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・松尾和恵（東京、四段、20）
第２位・石本妙子（福井、二段、18）
第３位・木村慶子（新潟、二段、16）
第３位・佐藤征代（兵庫、三段、27）

第7回大会（昭和43年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・田渕和江（岡山、三段、21）
第２位・中矢美保（愛媛、三段、19）
第３位・高野文江（神奈川、二段、19）
第３位・高橋節子（福島、三段、20）

第8回大会（昭和44年5月3日、大阪市中央体育館
優　勝・桑原永子（熊本、二段、18）
第２位・高木松枝（静岡、三段、21）
第３位・古場美智子（長崎、三段、21）
第３位・坂下恵子（鹿児島、三段、22）

第9回大会（昭和45年5月3日、大阪市中央休育館）
優　勝・桑原永子（東京、三段、19）
第２位・羽賀幸子（茨城、三段、18）
第３位・田渕和江（岡山、四段、23）
第３位・須藤文子（福岡、二段、18）

第10回大会（昭和46年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・桑原永子（熊本、三段、20）
第２位・佐竹千代（高知、三段、20）
第３位・池田百代（岐阜、初段、16）
第３位・工藤十四子（青森、三段、19）

第11回大会（昭和47年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・高橋政子（東京、三段、19）
第２位・久米村加代子（鹿児島、二段、17）
第３位・吉峰美智子（熊本、三段、19）
第３位・小松律子（秋田、二段、17）

第12回大会（昭和48年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・黒須厚子（栃木、三段、18）
第２位・久米村加代子（大阪、二段、18）
第３位・平川潤子（京都、二段、16）
第３位・満石輝代（岐阜、二段、16）

第13回大会（昭和49年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・黒須厚子（栃木、三段、19）
第２位・浜田ひで子（三重、二段、19）
第３位・尼田美保（山口、二段、17）
第３位・平川潤子（京都、二段、17）

第14回大会（昭和50年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・田中由美子（大阪、三段、19）
第２位・吉峰美智子（熊本、四段、22）
第３位・吉野都起子（神奈川、四段、24）
第３位・根本道世（大阪、三段、20）

第15回大会（昭和51年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・黒須厚子（栃木、三段、19）
第２位・浜田ひで子（三重、二段、19）
第３位・尼田美保（山口、二段、17）
第３位・平川潤子（京都、二段、17）

第16回大会（昭和52年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・根本道世（大阪、四段、22）
第２位・堀部あけみ（茨城、四段、20）
第３位・前田シン子（群馬、五段、28）
第３位・足立善子（滋賀、三段、20）

第17回大会（昭和53年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・根本道世（大阪、四段、23）
第２位・堀部あけみ（茨城、四段、21）
第３位・小松律子（神奈川、四段、23）
第３位・中川真紀（兵庫、三段、21）

第18回大会（昭和54年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・小松律子（神奈川、四段、24）
第２位・長俗川美奈子（新潟、二段、17）
第３位・矢野かなえ（東京、三段、20）
第３位・裏鍛領湖（北海道、三段、19）

第19回大会（昭和55年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・矢野かなえ（東京、四段、21）
第２位・二ツ森礼子（青森、三段、21）
第３位・藤田弘美（福岡、二段、17）
第３位・森田瑞恵（福岡、二段、20）

第20回大会（昭和56年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・森田瑞恵（福岡、三段、21）
第２位・川添永子（高知、五段、30）
第３位・光浦清美子（山口、三段、19）
第３位・二ツ森礼子（青森、四段、22）

第21回大会（昭和57年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・福之上里美（鹿児島、二段、17）
第２位・大村金子（東京、四段、22）
第３位・上浦かなえ（東京、四段、23）
第３位・道園郁代（熊本、三段、20）

第22回大会（昭和58年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・森田瑞恵（東京、三段、23）
第２位・川添永子（高知、五段、32）
第３位・都村祐子（香川、四段、20）
第３位・福之上里美（東京、三段、18）

第23回大会（昭和59年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・福之上里美（東京、三段、19）
第２位・森田瑞恵（東京、三段、24）
第３位・河野聡子（大分、三段、20）
第３位・栗田幸枝（埼玉、二段、16）

第24回大会（昭和60年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・三谷菜智（愛知、三段、20）
第２位・藤田弘美（茨城、四段、22）
第３位・平山理恵（熊本、二段、16）
第３位・花野優子（和歌山、二段、17）

第25回大会（昭和61年5月3日、大阪市中央体育館）
優　勝・佐竹みゆき（熊本、三段、18）
第２位・大堀真奈美（鹿児島、三段、19）
第３位・福之上里美（東京、四段、21）
第３位・柴田幸喜恵（愛知、三段、21）

第26回大会（昭和62年5月31日、守口市民体育館）
優　勝・川俣真由美（大阪、二段、17）
第２位・山崎圭子（千葉、三段、20）
第３位・福之上里美（東京、四段、23）
第３位・栗田幸枝（埼玉、三段、19）

第27回大会（昭和63年5月2日、大阪市中央体育館）
優　勝・溝口貴子（宮崎、四段、20）
第２位・福之上真理子（大阪、四段、20）
第３位・栗田幸枝（埼玉、三段、20）
第３位・岩瀬留美（愛知、三段、21）

第28回大会（平成元年5月4日、大阪市中央体育館）
優　勝・倉地富美恵（東京、三段、21）
第２位・本多妃佐子（長崎、初段、17）
第３位・北里弥生（熊本、三段、20）
第３位・堤利恵（大分、四段、20）

第29回大会（平成2年9月9日、守口市民体育館）
優　勝・近藤洋子（東京、四段、23）
第２位・川畑百重（大阪、二段、18）
第３位・倉地富美恵（東京、四段、22）
第３位・牛木さつ子（東京、五段、28）

第30回大会（平成3年9月8日、守口市民体育館）
優　勝・西晴乃（鹿児島、三段、19）
第２位・谷山百合香（鹿児島、三段、19）
第３位・福之上真理子（大阪、四段、23）
第３位・大村恵理（岡山、三段、17）

第31回大会（平成4年9月13日、守口市民体育館）
優　勝　・　鍋　山　玲　子　（福　岡、二段、17）
第２位　・　谷　山　百合香　（鹿児島、三段、20）
第３位　・　山　本　恵　美　（東　京、三段、21）
第３位　・　石　井　真　弓　（埼　玉、二段、18）

第32回大会（平成5年9月12日、守口市民体育館）
優　勝　・　石　田　真理子　（大　阪、五段、25）
第２位　・　川　俣　真由美　（神奈川、四段、23）
第３位　・　國　村　裕　子　（香　川、四段、21）
第３位　・　鍋　山　玲　子　（福　岡、三段、18）

第33回大会（平成6年9月11日・守口市民体育館）
優　勝　・　石　田　真理子　（大　阪、五段、26）
第２位　・　西　　晴　乃　（鹿児島、四段、22）
第３位　・　高　田　智　子　（大　阪、四段、22）
第３位　・　村　山　千　夏　（新　潟、三段、20）

第34回大会（平成7年9月10日、愛知県武道館）
優　勝　・　川　畑　百　重　（東　京、四段、23）
第２位　・　有　馬　佳　代　（鹿児島、三段、20）
第３位　・　高　松　明　美　（東　京、三段、22）
第３位　・　東　　森　環　（岡　山、四段、23）

第35回大会（平成8年9月1日・名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　・　甲　斐　敦　子　（大　阪、三段、19）
第２位　・　川　畑　百　重　（東　京、四段、24）
第３位　・　大　塚　真由美　（大　阪、四段、24）
第３位　・　柿　原　未　砂　（和歌山、三段、20）

第36回大会（平成9年9月7日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　・　大　塚　真由美　（神奈川、五段、28）
第２位　・　村　山　千　夏　（新　潟、三段、23）
第３位　・　木　村　美　姫　（奈　良、四段、25）
第３位　・　根　本　麻弥子　（千　葉、五段、26）

第37回大会（平成10年9月13日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　・　大　塚　真由美　（神奈川、五段、29）
第２位　・　河　野　朋　子　（福　岡、三段、21）
第３位　・　永　尾　恒　美　（大　阪、四段、24）
第３位　・　福　田　美佐子　（長　崎、四段、24）

第38回大会（平成11年9月12日、名古屋市中村ポーツセンター）
優　勝　・　朝　比　奈静香　（東　京、四段、24）
第２位　・　有　馬　佳　代　（鹿児島、四段、24）
第３位　・　谷　山　百合香　（京　都、五段、28）
第３位　・　坪　田　祐　佳　（岡　山、三段、19）

第39回大会（平成12年9月3日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　・　朝比奈　静　香　（東　京、四段、25）
第２位　・　永　尾　恒　美　（大　阪、五段、26）
第３位　・　馬　場　恵　子　（大　阪、四段、22）
第３位　・　田　中　百合香　（京　都、五段、29）

第40回大会（平成13年9月2日、名古屋市中村ポーツセンター）
優　勝　・　堀　口　恭　子　（山　梨、四段、24）
第２位　・　有　馬　佳　代　（鹿児島、四段、26）
第３位　・　黒　岩　直　美　（福　岡、五段、28）
第３位　・　福　田　美佐子　（長　崎、四段、27）

第41回大会（平成14年9月1日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　・　坪　田　祐　佳　（岡　山、四段、22）
第２位　・　有　島　佳　代　（鹿児島、五段、27）
第３位　・　岡　田　　圭　（熊　本、三段、22）
第３位　・　萩　原　寿　里　（大　阪、四段、23）

第42回大会（平成15年9月7日、名古屋市中村ポーツセンター）
優　勝　・　緒　方　有　希　（熊　本、四段、24）
第２位　・　朝　比　奈静香　（東　京、五段、28）
第３位　・　興　梠　　舞　（茨　城、三段、22）
第３位　・　田　中　百合香　（京　都、六段、32）

第43回大会（平成16年9月5日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　・　岡　田　　圭　（熊　本、四段、24）
第２位　・　新　里　知佳野　（沖　縄、四段、22）
第３位　・　島　村　百　重　（東　京、五段、32）
第３位　・　久　木　山満美　（東　京、五段、28）

第44回大会（平成17年9月4日、静岡県武道館）
優　勝　・　村　山　千　夏　（埼　玉、五段、31）
第２位　・　緒　方　有　希　（熊　本、五段、26）
第３位　・　宮　川　瑠璃子　（茨　城、三段、21）
第３位　・　恩　田　　望　（静　岡、三段、19）

第45回大会（平成18年9月3日、静岡県武道館）
優　勝　・　村　山　千　夏　（埼　玉、五段、32）
第２位　・　緒　方　有　希　（熊　本、五段、27）
第３位　・　坪　田　祐　佳　（岡　山、五段、26）
第３位　・　内　田　さくら　（静　岡、五段、28）

第46回大会（平成19年9月2日、静岡県武道館）
優　勝　・　村　山　千　夏　（埼　玉、六段、33）
第２位　・　内　田　さくら　（静　岡、五段、29）
第３位　・　鈴　木　愛　梨　（山　形、三段、20）
第３位　・　坪　田　祐　佳　（岡　山、五段、27）

第47回大会（平成20年9月7日、静岡県武道館）
優　勝　・　坪　田　祐　佳　（岡　山、五段、28）
第２位　・　村　山　千　夏　（埼　玉、六段、34）
第３位　・　福　田　美佐子　（長　崎、錬士六段、34）
第３位　・　片　渕　美　和　（大　阪、四段、23）

第48回大会（平成21年9月27日、静　岡県武道館）
優　勝　・　村　山　千　夏　（埼　玉、錬士六段、35）
第２位　・　庄　島　幸　恵　（東　京、錬士六段、33）
第３位　・　新　里　知佳野　（新　潟、五段、27）
第３位　・　坪　田　祐　佳　（岡　山、五段、29）

第49回大会（平成22年9月26日、静岡県武道館）
優　勝　・　石　突　小百合　（東　京、五段、25）
第２位　・　鷹　見　由紀子　（千　葉、四段、25）
第３位　・　山　下　久美子　（東　京、五段、27）
第３位　・　川　越　　愛　（兵　庫、四段、24）

第50回大会（平成23年9月25日、兵庫県立武道館）
優　勝　・　村　山　千　夏　（埼　玉、錬士六段、37）
第２位　・　正　代　小百合　（東　京、五段、26）
第３位　・　黒　河　香　菜　（広　島、四段、24）
第３位　・　荒　井　貴　子　（埼　玉、五段、28）

第51回大会（平成24年9月2日、兵庫県立武道館）
優　勝　・　山　本　真理子　（大　阪、四段、24）
第２位　・　内　田　　舞　（熊　本、三段、31）
第３位　・　山　口　美　紀　（神奈川、四段、22）
第３位　・　宮　川　瑠璃子　（山　口、五段、28）

第52回大会（平成25年9月8日、兵庫県立武道館）
優　勝　・　山　本　真理子　（大　阪、五段、25）
第２位　・　竹　村　奈緒美　（岐　阜、四段、24）
第３位　・　小　津　野祐佳　（岡　山、錬士六段、33）
第３位　・　石　塚　　芳　（大　阪、四段、25）

第53回大会（平成26年9月7日、兵庫県立武道館）
優　勝　・　田　山　秋　恵　（大　阪、五段、25）
第２位　・　松　本　弥　月　（福　岡、四段、22）
第３位　・　梅　村　友　絵　（東　京、五段、28）
第３位　・　山　本　真理子　（大　阪、五段、26）

第54回大会（平成27年9月13日、兵庫県立武道館）
優　勝　・　松　本　弥　月　（神奈川、四段、23）
第２位　・　田　山　秋　恵　（大　阪、五段、26）
第３位　・　山　本　真理子　（大　阪、五段、27）
第３位　・　鷹　見　由紀子　（千　葉、五段、30）

第55回大会（平成28年9月11日、ホワイトリング）
優　勝　・　正　代　小百合　（東　京、六段、31）
第２位　・　大　西　ななみ　（福　岡、四段、21）
第３位　・　山　本　真理子　（大　阪、五段、28）
第３位　・　松　本　弥　月　（神奈川、四段、24）

第56回大会（平成29年9月24日、ホワイトリング）
優　勝　・　高　橋　萌　子　（神奈川、四段、24）
第２位　・　興　梠　　舞　（宮　崎、四段、36）
第３位　・　山　本　真理子　（大　阪、五段、29）
第３位　・　渡　邊　タ　イ　（熊　本、四段、25）

第57回大会（平成30年9月23日、ホワイトリング）
優　勝　・　高　橋　萌　子　（神奈川、四段、25）
第２位　・　佐　藤　みのり　（福　島、四段、21）
第３位　・　松　本　智　香　（福　岡、四段、22）
第３位　・　大　西　ななみ　（福　井、四段、23）

第58回大会（令和元年9月8日、ホワイトリング）
優　勝　・　松　本　弥　月　（神奈川、五段、27）
第２位　・　山　本　真理子　（大　阪、六段、31）
第３位　・　渡　邊　タ　イ　（熊　本、五段、27）
第３位　・　竹　中　美　帆　（茨　城、四段、22）

第59回大会（令和3年3月14日、ホワイトリング）
優　勝　・　諸　岡　温　子　（東　京、三段、20）
第２位　・　山　﨑　里　奈　（宮　崎、四段、21）
第３位　・　竹　中　美　帆　（栃　木、四段、23）
第３位　・　小　松　加　奈　（青　森、四段、22）

第60回大会（令和3年9月19日、ジェイテクトアリーナ奈良）
優　勝　・　妹　尾　舞　香　（福　岡、四段、21）
第２位　・　志　藤　綾　子　（埼　玉、五段、29）
第３位　・　川　合　芳　奈　（静　岡、三段、19）
第３位　・　東　堅　嘉　怜　（和歌山、三段、20）

第61回大会（令和4年9月4日、ジェイテクトアリーナ奈良）
優　勝　・　末　永　真　理　（和歌山、錬六、34）
第２位　・　妹　尾　舞　香　（福　岡、四段、22）
第３位　・　村　田　桃　子　（福　岡、四段、24）
第３位　・　阿　部　美　洸　（東　京、五段、29）

第62回大会（令和5年9月3日、ジェイテクトアリーナ奈良）
優　勝　・　（　　、　　）
第２位　・　（　　、　　）
第３位　・　（　　、　　）
第３位　・　（　　、　　）

公開演武者の紹介

〈 日 本 剣 道 形 〉

中本　利子

剣道教士七段

「仕太刀」

鎌塚　いづみ

剣道教士七段

「打太刀」

日本剣道形は、大正元年、各流派の優れた技をもとに制定されたもので、太刀の形7本、小太刀の形3本、計10本より成り立っております。最も理にかなった、刀の操作法が組み込まれており、剣道の神髄を追求し、技の理合を極めた剣道修錬の基本となるものです。

第６２回全日本女子剣道選手権大会　記念品

赤　膚　焼

赤膚焼は、地元の鉄分をふくんだ土で焼くため、ほんのり赤い地肌をしています。そこに釉薬(うわぐすり)をかけて焼き上げます。赤膚のやわらかい風合いに加えて、絵図果経や東大寺蓮弁等の絵図を題材として、私なりにアレンジし、上下二本の線の中に人形や家が描かれているものが多く、又、奈良の風景や鹿、昔の物語などといった、色々な紋様を組み入れ繊細なタッチで描かれた奈良絵、素朴な味わいの器です。

赤膚焼　大　塩　恵　旦

全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

（会長名・事務局所在地・電話番号・FAX 番号）

令和 5 年 6 月 27 日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内	TEL03(3211)5804	FAX(3211)5807
会長　網代忠宏	九段事務所	102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階	TEL03(3234)6271	FAX(3234)6007

地方代表団体	会長	〒	事務局所在地	電話	FAX
(一財)北海道剣道連盟	武田　牧雄	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1 北海道立総合体育センター内	011(820)1662･1663	(820)1662･1663
青森県　〃	増田　知幸	038-0059	青森市大字油川字中道19-6	017(787)2485	(787)2485
秋田県　〃	小松　誠	011-0945	秋田市土崎港西5-11-10	018(838)1783	(845)3255
山形県　〃	安部美知雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28	023(625)4825	(625)4826
岩手県　〃	小笠原宏志	020-0122	盛岡市みたけ3-38-20　(一財)岩手県青少年会館内	019(645)2220	(645)2220
(一財)宮城県　〃	井上　雅勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1	022(746)8461	(746)8462
福島県　〃	長谷川弘一	960-0102	福島市鎌田字町23　サラダハウスA101号	024(597)8218	(597)8218
(一財)茨城県　〃	水田　重則	310-0903	水戸市堀町1161-13	029(251)8811	(255)6228
栃木県　〃	白石　正範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6　栃木県教育会館2階	028(624)4567	(627)4001
群馬県　〃	小林　一隆	371-0047	前橋市関根町3-27-12	027(235)0870	(235)0870
(公財)埼玉県　〃	栗原　憲一	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5　浦和合同庁舎4階	048(834)8869	(834)8879
(一財)東京都　〃	千葉　胤道	105-0004	港区新橋4-24-2	03(5405)2166	(5405)3680
(一財)千葉県　〃	忍足　功	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20	043(285)4331	(285)4333
神奈川県　〃	小林　英雄	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1　相鉄･岩崎学園ビル307号	045(321)6175	(321)6176
山梨県　〃	渡邊　宏一	409-3804	中央市井之口150-2	055(278)6162	(278)6163
(一財)新潟県　〃	荻荘　誠	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21　北陽ビル2階	025(384)4784	(384)4794
(一財)石川県　〃	南　信廣	920-0811	金沢市小坂町西57-3　KSハイツ205号	076(253)0310	(253)0341
(一財)富山県　〃	大門　進	939-8076	富山市太郎丸2−77　伊勢税理士事務所内	076(492)4040	(423)6087
(一財)福井県　〃	片山　外一	910-0015	福井市二の宮2-24-18　サンライズ二の宮 1-B	0776(28)6616	(28)6616
(一財)長野県　〃	加瀬　浩明	380-0844	長野市諏訪町503	026(237)8939	(235)8266
(一社)静岡県　〃	二橋　高弘	420-0822	静岡市葵区宮前町355	054(263)5428	(263)8367
(一財)愛知県　〃	大嶽　將文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22	052(481)0093	(481)0095
岐阜県　〃	堤　俊彦	500-8384	岐阜市薮田南1-11-12　岐阜県水産会館611	058(274)1521	(274)8949
三重県　〃	中森　博文	514-0007	津市大谷町152　大谷ハイム1-202号	059(226)5975	(229)7407
(一財)滋賀県　〃	中野　正堂	524-0022	守山市守山4-7-20　辻田ビル2階	077(514)3165	(514)3178
(一財)京都府　〃	伊吹　文明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19	075(761)8288	(761)8287
(公社)大阪府　〃	長榮　周作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1　若杉センタービル別館502号	06(6351)3345	(6351)3346
(一財)奈良県　〃	吉田　克法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14　不動ビル505号	0742(32)5008	(32)5011
和歌山県　〃	世耕　弘成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2	073(432)7760	(432)7759
(公財)兵庫県　〃	神谷　明文	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8　虹ヶ池ハイツ201号	078(861)5145	(802)5240
(一財)岡山県　〃	藤田　長久	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1	086(235)3255	(235)3245
(一財)広島県　〃	田中　秀和	730-0014	広島市中区上幟町1-5	082(962)3076	(962)3087
(一財)山口県　〃	中西　章	753-0083	山口市後河原237-1　警察体育館別館内	083(932)5072	(932)5073
(一財)鳥取県　〃	岸田　芊	680-0036	鳥取市川端3-216　瀧本ビル3階	0857(29)2668	(29)2668
島根県　〃	高木　弘伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1　鬼村純方	0852(27)6222	(27)6222
香川県　〃	三原　悦男	760-0033	高松市丸の内4-6アラキビル2階南	087(880)4463	(880)4467
(一社)愛媛県　〃	俊野　徹人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28　福泉ビル205号	089(941)9394	(941)3013
高知県　〃	渡邊　三則	781-5102	高知市大津甲2009-34	090-1009-6857	
徳島県　〃	藤川　和秋	770-0861	徳島市住吉3-9-6　栗本マンション106号	088(652)2337	(652)2360
(公社)福岡県　〃	青柳　俊彦	810-0052	福岡市中央区大濠1-1-1　福岡武道館内	092(712)1890	(712)1891
佐賀県　〃	川上　春生	849-0923	佐賀市日の出2-1-11　佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184	(20)9888
(一財)長崎県　〃	灰谷　達明	850-0036	長崎市五島町5-34　トーカンマンション1-E	095(826)5220	(826)5220
(一財)大分県　〃	三浦　悟	870-0820	大分市西大道1-1-76　第2ハルキコーポ101号	097(547)9980	(547)9981
(一財)熊本県　〃	尾方　正照	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2　熊本武道館内	096(381)8998	(381)8998
宮崎県　〃	橋口　光博	880-2102	宮崎市大字有田371-4	0985(62)3890	(62)3893
鹿児島県　〃	俣木　正喜	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20　県立武道館内	099(255)8778	(255)8778
(一財)沖縄県　〃	親川　光俊	900-0026	那覇市奥武山町51-2　沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410	(996)4616

全剣連発行の頒布物一覧

令和５年９月

頒　布　物　名	価　格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2
FIK剣道試合・審判規則（和英版）	¥1,000	140	5
居合道試合・審判規則	¥500	55	3
杖道試合・審判規則	¥500	58	3
称号・段級位審査規則	¥400	81	3
日本剣道形解説書	¥200	93	2
日本剣道形解説書（英語版）	¥900	240	5
居合解説	¥250	74	3
居合解説（英語版）	¥500	79	3
杖道解説	¥500	186	7
杖道解説（英語版）	¥900	183	7
剣道指導要領	¥2,900	554	7
剣道指導要領（英語版）	¥3,400	858	11
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144	2
剣道和英辞典（第3版）	¥2,100	283	14
剣道社会体育教本（改訂版）	¥2,100	664	13
剣道医学Q＆A（第3版）	¥2,100	785	15
剣道医学救急ハンドブック（第3版）	¥500	97	4
剣士のためのアンチ・ドーピングマニュアル（第二刷）	¥300	90	3
剣道講習会資料	¥500	310	8
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2
木刀による剣道基本技稽古法（英語版）	¥700	173	2

頒　布　物　名	価　格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道用具の保守・管理（英語版）	¥400	69	3
剣道学科審査の問題例と解答例（初段～五段）	¥500	175	3
剣道授業の展開（DVD付き）	¥1,000	346	7
絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
木刀による剣道基本技稽古法 DVD	¥3,600	92	15
居合DVD（英語版）	¥3,100	93	15
剣道人バッジ ネジ	¥1,300	13	16
剣道人バッジ タック	¥1,300	13	16
カフス・タイピン（真鍮バー）	¥6,100	66	30
FIKバッジ（ネジ・タック）	各¥1,100	19	18
男子審判用ネクタイ	¥2,000	58	16
女子審判用ネクタイ	¥1,500	52	9
竹刀検査用基準器　ゲージ１　（先革先端部最小直径計測用）	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器　ゲージ２（ちくとう対角計測用）	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器　検査台（ちくとう対角計測用）	¥9,800	510	25
竹刀検査用基準器セット	¥18,000	620	28
ぶしし手ぬぐい（白・紺・黄・あずき）	各¥500	38	4
ぶししクリアファイル（5枚セット）	¥500	127	2
ぶししステッカーシート	¥200	8	1
ぶししアイロンワッペン	¥700	1	3
ぶししぬいぐるみ	¥4,000	256	210
設立七十周年記念出版「全剣連と剣道界　この十年の歩み	¥2,500	980	28

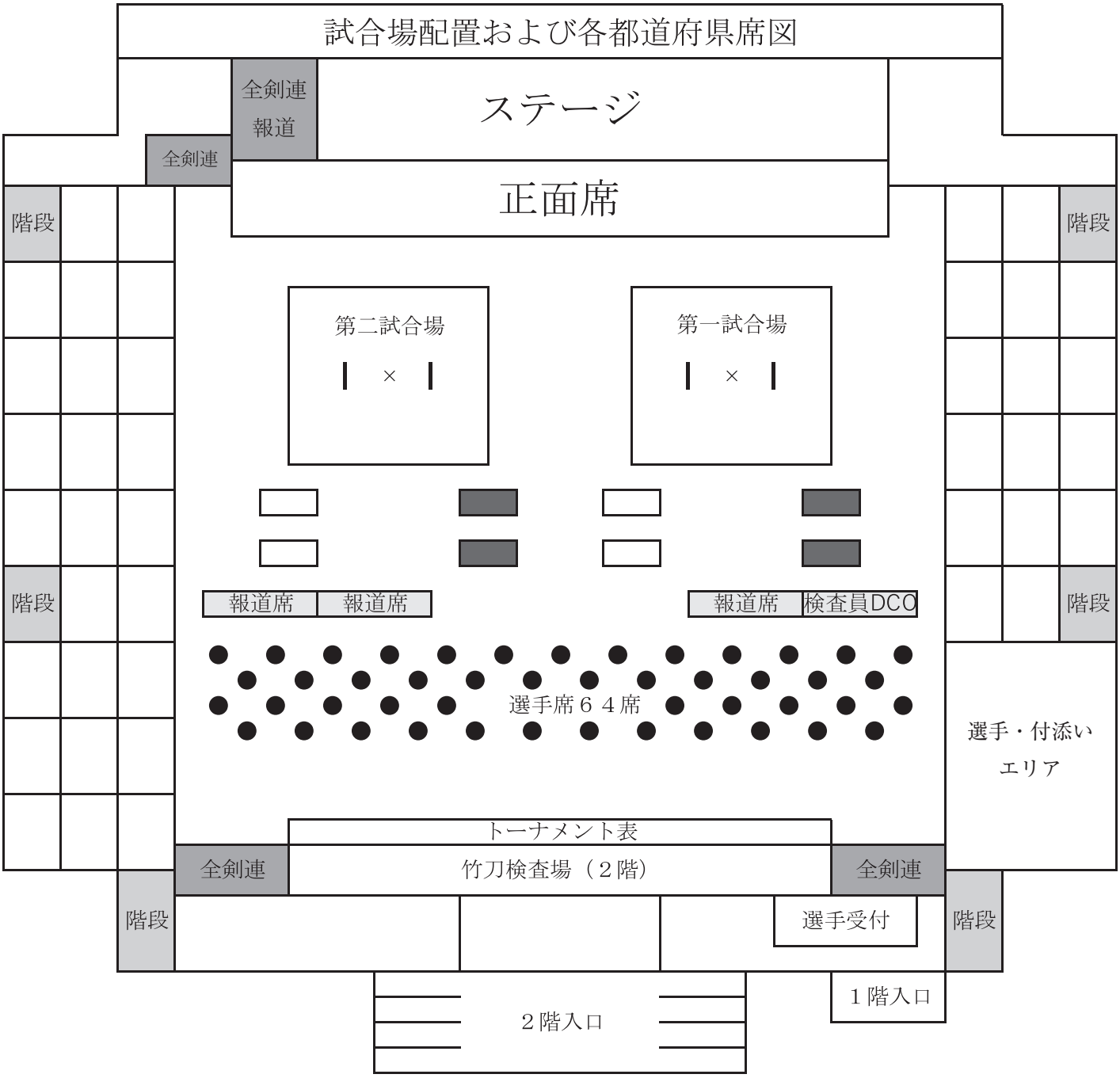
＊品物はすべて消費税込みとなります。
＊全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

『購入申し込み方法』

(1) インターネットからのお申し込み・・・https://zenkenren-shop.com
(2) ＦＡＸでのお申し込み・・・心力舎企画株式会社　03－3451－6905　へＦＡＸして下さい。
①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧ＦＡＸ番号をご記入下さい。
*お支払い金額（品物代金＋送料）を記入したご注文確認のＦＡＸを返信いたします*ので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法(②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。)
①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替
◎発送方法・送料　　(送料は、ご注文の際にお知らせいたします。)
①宅 配 便・・・送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。
②メール便・・・（この場合、代金引換はご利用いただけません。）
全国一律、500円で、Ａ４サイズ(厚さ20ｍｍまで)の品物の配送に利用いただけます。
＊ オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。

試合場配置および各都道府県席図



大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

1　大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

2　大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。

3　大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

全日本剣道連盟　広報誌

月刊 剣窓

――剣道人 必読の書――

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい――切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料（12回分）　税・送料込３，３００円〉

お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「００１００－９－１１６２５０」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

https://zenkenren-shop.com/kenso/

お問い合わせ

全日本剣道連盟九段事務所

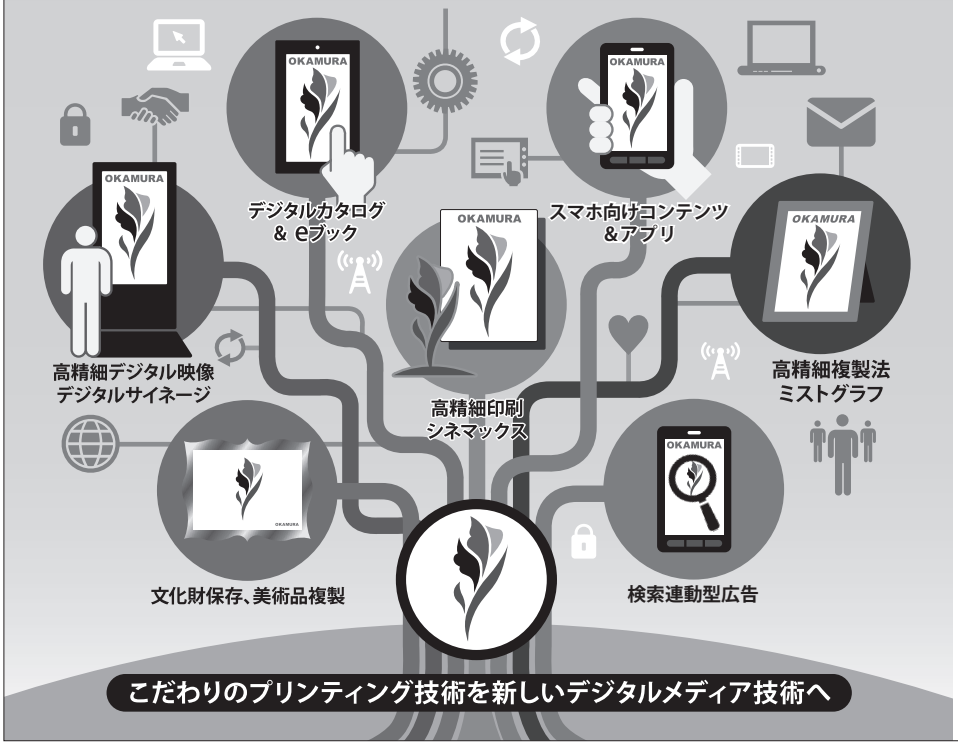
〒102-0074　東京都千代田区九段南 2-3-14　靖国九段南ビル２階

電話　03(3234)6271　FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

https://www.kendo.or.jp/

プリンティングソリューションに こだわるグッドパートナー



本　　社
〒635-0143
奈良県高市郡高取町車木215
TEL：0745-62-2701(代)
FAX：0745-62-8564

大阪事業部
〒581-0038
大阪府八尾市若林町1-76-3 ステーションプラザ八尾南4階
TEL：072-949-3334(代)
FAX：072-949-3335

名古屋営業所
〒451-0045
名古屋市西区名駅三丁目6-20　福田ビル5階
TEL：052-586-6411
FAX：052-586-6415

東京事業部
〒110-0015
東京都台東区東上野1-9-6　ウエノU-PALビル5階
TEL：03-5834-3581(代)
FAX：03-5834-3583

〈2〉岡村印刷工業株式会社

喜多酒造直営

駅ナカ・スタンディングバー

酒屋みよきく

酒屋みよきくは
『酒を身近なものに』をコンセプトにした年中無
休の駅ナカ店舗です。
『飲める・買える・楽しめる』
お店を目指してます。

OPEN　平日　17：00～21：00
　　土　　14：00～21：00
　　日祝　14：00～19：00

〒634-0063
奈良県橿原市久米町618
橿原神宮前駅中央改札横

喜多酒造・酒屋みよきくの
最新情報はこちらから
www.miyokiku.com

Homepage　Instagram

【お問合せ】　喜多酒造株式会社　0744-22-2419　miyokiku@miyokiku.com

Aqua 人と技術で未来を築く

変革と創造

アクアソリューション

Aqua solution Co.,Ltd. 株式会社

（旧：宇陀環境開発株式会社）

代表取締役 尾田 肇睦

本　社 〒634-0816 橿原市慈明寺町203番地の8
TEL.0744-22-3449 FAX.0744-25-7711

奈良支社 奈良市朱雀1丁目8-15

榛原本店 宇陀市榛原町長峯718番地

ISO 14001 JACO EC00J0235

JAB MS CM021

レンタルのニッケン

奈良営業所

〒639-1103 奈良県大和郡山市美濃庄町800
TEL：0743-55-5221 FAX：0743-58-2080
https://www.rental.co.jp/

赤膚焼

奈良市、大和郡山市に窯場が点在する陶器。
桃山時代に大和郡山城主であった豊臣秀長が
五条村赤膚山に開窯したと伝えられています。
小堀遠州七窯の一つで
白釉とかわいい奈良絵が
人気です。

〒630-8042 奈良市西ノ京町215の1
がんこ一徹長屋内
赤膚焼 大塩恵旦
TEL・FAX 0742(41)0657

私たちは自然の恵み、トウモロコシを原料に
「環境調和企業」を目指します。

三和澱粉工業株式会社

本社・工場 〒634-8585奈良県橿原市雲梯町594
TEL(0744)22-5531　FAX(0744)22-4177
https://www.sanwa-starch.co.jp

KAZUTAKA
一貴
日本製

ISHIZUE
礎
MADE BY
KAZUTAKA

オリジナル
日本製甲手製造販売
オリジナル
剣道具一式販売
剣道具修理

〒 630-8301
奈良市高畑町 614-1
椚 原 弘 貴
携 帯 080-4437-4526
FAX 0742-24-0115
http://www.kazutakanara.com

新しい剣の道へ
株式会社　東京正武堂　特約代理店
北斗武道具
〒636-0123
奈良県生駒郡斑鳩町興留2-5-1
TEL・FAX　0745-75-6128
http://www.hokuto-budougu.com/

各種武道具専門

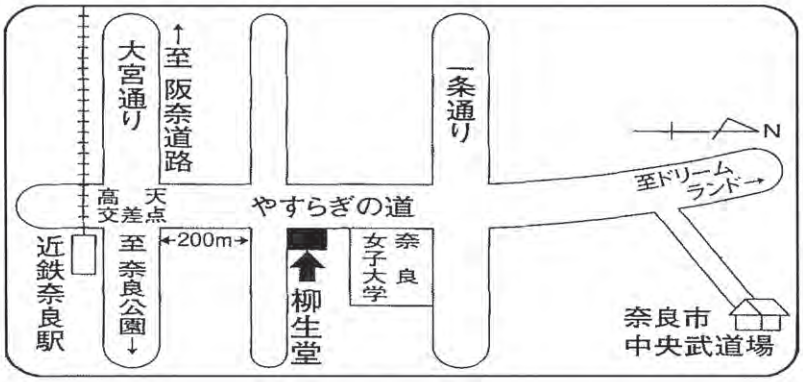
柳生堂

窪田武道具店

奈良店　奈良市内侍原町33 TEL/FAX 0742(22)8883

営業時間：AM10:00
～
PM 8:00

定休日：月曜日

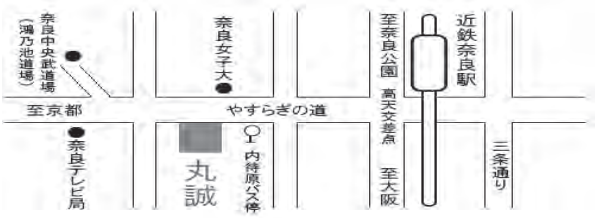


選手の皆さん、ご健闘お祈り致します。

武道具専門店

誠 丸誠武道具店

〒630-8252
奈良市北小路町4-5
TEL(0742)26-5818　FAX(0742)22-5161
営業日：火曜日～日曜日（定休日：月曜日）
営業時間：10時～20時（日祝19時まで）



http://www.e-marusei.com/

奥吉野の食文化を古都奈良から全国へ

古くから貴人たちに愛され、
幾重にも連なる美しい峰々に抱かれた奈良・奥吉野。
そこに住まう人々が代々、大切に受け継いできた
美味なる寿司があります。
この清澄な風味を多くの方にお届けしたい。
そんな思いからゐざさの歴史は始まりました。
故郷の思い出にも似た懐かしい味わいを、
どうぞ心行くまでお楽しみください。

ゐざさ IZASA

株式会社 中谷本舗

https://www.izasa.co.jp/
いざさ 検索

上北山村 本店

ご用命ははお近くの販売店、お電話、オンラインショップにて承ります。

0120-234-888 フリーFAX 0120-234-867
□受付時間：午前9:00～午後6:00 □年中無休

本　　店	〒639-3701	奈良県吉野郡上北山村河合353	TEL. 07468-2-0008
平城山店	〒631-0011	奈良県奈良市押熊町2141-1	TEL. 0742-48-5000
三 条 店	〒630-8227	奈良県奈良市林小路町17-1	TEL. 0742-23-0133
田原本店	〒636-0226	奈良県磯城郡田原本町唐古	TEL. 0744-33-3448
夢風ひろば店	〒630-8212	奈良県奈良市春日野町16	TEL. 0742-22-8133

ようこそ、
日本のはじまりへ。

令和2年の御鎮座１３０年記念奉祝事業では、
境内の鳥居４基が約８０年ぶりに修築され、
新旧材が融合した鳥居に生まれ変わりました。

表参道　第一鳥居

橿原神宮

〒634-8550 奈良県橿原市久米町934　電話：0744(22)3271／FAX：0744(24)7720
近鉄橿原神宮前駅下車 徒歩約10分 特急電車で大阪から約35分・京都から約55分

橿原神宮 検索

Instagram　X（旧Twitter）

日々の風景や季節の情報を発信
橿原神宮公式SNS

私たちは《剣道》を応援しています

株式会社メルコホールディングス
BUFFALO シマダヤ

SgH | SAGAWA

JX金属

JAL JAPAN AIRLINES

NTTグループ

三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

トヨタ自動車株式会社

All Japan Budogu Cooperative
全日本武道具協同組合

Valor ホールディングス